

前畑秀子^{まへはたけ ひでこ}が大河ドラマ「いだてん」に登場することが発表されました！

4月24日、現在放送中の2019年大河ドラマ「いだてん 田畑政治篇」の出演者発表があり、橋本市名誉市民で日本女性初のオリンピック金メダリスト前畑秀子がドラマに登場することが発表されました。

【生涯学習課・シティセールス推進課・秘書広報課】



前畑秀子とは

紀の川で育った水泳選手

前畑さんは、1914年に橋本町古佐田（現・橋本市）で生まれ、幼少時から自宅近くの紀の川で泳ぎを覚え、自らを鍛えました。

1926年、橋本小学校5年生の時に、学童水泳大会平泳ぎ50メートルで当時の学童女子日本新記録を樹立。

その後、1930年からは椋山高等女学校（現・椋山女学園）に編入し、練習に励む毎日を送りました。



▲紀の川で泳ぎの練習をする前畑さん

水泳の発展に貢献

現役を引退後は、椋山女学園の職員、スイミングスクールのコーチを経て、1976年に名古屋市で日本初の「ママさん水泳教室」を開設するなど、水泳人口の拡大や後輩の育成に熱心に取り組みました。

その後、国際水泳殿堂入りを果たし、五輪功労賞を受賞。1990年には、女子スポーツ界初の文化功労者に選ばれました。また、1983年には、橋本市名誉市民の称号が贈られました。



▲水泳教室で子どもたちを指導する前畑さん

全国民が歓喜した日本女性初の金メダリスト

1932年に開催された第10回ロサンゼルスオリンピック200メートル平泳ぎでは、わずか0.1秒差で惜しくも2位になりました。



その後、猛練習を重ね、1936年に開催された第11回ベルリンオリンピック水泳女子200メートル平泳ぎで、地元ドイツ選手とデッドヒートを繰り広げ、見事勝利。前畑さんは、日本女性初となる金メダルを獲得し、その偉業に全国民が歓喜しました。

この試合で実況アナウンサーが「前畑頑張れ！前畑勝った！」と何度も繰り返したラジオ放送は、現在でも多くの人に語り継がれています。

当時の国民的英雄となった前畑秀子役は、現在テレビドラマやCMにも多数出演している女優「上白石萌歌」さんが演じることとなりました。

橋本市の知名度アップに

2019年大河ドラマ「いだてん」で橋本市名誉市民前畑秀子^{まへはたけ ひでこ}が取り上げられることにより、橋本市の知名度が上がり、今後ますます観光客の誘致や地域産業の活性化につながることを期待します。6月30日から放送予定の「いだてん 田畑政治篇」の発表を受け、橋本市としてもさまざまなイベントや情報発信を考えていますので、決まり次第、市ホームページや広報はしもなどで皆さんにお知らせします。



写真提供：椋山歴史文化館

今月のかけ橋人

前畑秀子 × 橋本 前を向いて



認知症当事者と家族の会

山本 芳照さん（高野口町大野）

約束を忘れてしまったり、車をこすったりとミスが増え、「今までとは何か違う」「何となくもやもやする」と気になることが続いたため、脳神経外科を受診したところ、認知症の予備軍との診断を受けました。自分自身が思い悩んだ経験から、苦しい時期に同じ思いを持つ人と語り合い、励まし合うことができる居場所として、認知症当事者と家族の会「みかんの会」を発足させることができました。認知症であることは不便ではありますが不幸ではありません。みんなで工夫をしながら半歩でも前に、前向きに生活を楽しめる会にしたいと思います。

目次

- 3 前畑秀子^{まへはたけ ひでこ}が大河ドラマに登場
- 4 特集 きらり vol.50
- 8 特集 大雨による災害に備えよう
- 10 情報ワイド
 - ▶市営住宅入居者募集
 - ▶橋本市地域づくり活動交付金事業の助成について
 - ▶市税はまちづくりの貴重な財源です
- 12 情報ひろば
- 20 タウン情報
- 21 子育てぱーく
- 22 本のひろば
- 23 健康カレンダー
- 24 フォトトピックス

今月の表紙



認知症学習を受けて、認知症サポーターの一員となった境原小学校の子どもたち。